

## 築川ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場

(開催日時) 平成 23 年 1 月 12 日 (水) 13:30~15:30

(開催場所) エスポワールいわて

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 議事
  - (1) 検証に至る経緯等について
  - (2) 築川ダム検証内容について
  - (3) その他
- 5 閉会

### 出席者

盛岡市副市長 (盛岡市長代理)	細田 敬一
矢巾町上下水道課長 (矢巾町長代理)	藤川 浩
岩手県県土整備部長 (岩手県知事代理)	平井 節生

### 1 開会

**○松本河川課総括課長** それではご案内の時間になりましたので、ただいまから築川ダム建設事業につきまして、関係地方公共団体からなる検討の場を開催させていただきます。私は事務局を務めております、県土整備部河川課総括課長の松本と申します。よろしくお願いいたします。本日の会議の開催に至った経緯を簡単にご説明申し上げますと、国では現在人口減少、少子高齢化、財政赤字の不安に直面していることから、税金の使い道を変えていかなければならないというところからです。このようなことから、ダム事業におきましても直轄事業、補助事業につきまして出来るだけダムに頼らない治水への政策転換を進めるということで、一昨年暮れに今後の治水対策のありかたに関する有識者会議が設置されまして、12 回に及ぶ会議と 2 回のパブリックコメントを実施し、中間とりまとめが国土交通大臣に提出されました。この中間とりまとめを受け、国では昨年 9 月 28 日に補助ダムの事業を実施している各都道府県の知事に対し大臣からダムの検証要請があり、本県においては、築川ダム・津付ダムの 2 ダムについて検証要請があったところであります。このようなことから本日の会議は、国から示されました検証の進め方に基づき、相互の立場を理解しつつ検討の内容の認識を深めるため、関係地方公共団体からなる検討の場を設置させていただいたものでございます。それでは開会にあたりまして検討主体であります岩手県知事の代理でございます平井県土整備部長から挨拶を申し上げます。

### 2 挨拶

**○平井県土整備部長** 県土整備部長の平井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本来であれば知事が参るところ、所用で出席できませんので、代理を務めさせていただいた

と思います。本日はお忙しい中、また足元のよろしくない中お集まりいただきまして、ありがとうございます。日頃から、築川ダム建設事業の推進につきまして、色々ご協力いただきましてありがとうございます。先ほど、松本総括が申したとおり、国から築川ダムと津付ダムの検証するよう要請されておりました、その検証の進め方とういのを示されている訳ですけど、その中で相互の立場を理解しつつ、検討内容の認識を深め検討を進めるために関係地方公共団体からなる検討の場というものを設置したものです。今回は、検討主体の岩手県が作成しました「検証の中間報告」について報告を行いまして、皆様からご意見等を頂きたいと考えております。よろしくお願いいたします。

### 3 出席者紹介

**○松本河川課総括課長** それでは次に出席者のご紹介を致します。はじめに、検討主体を代表しまして、ただいま、ご挨拶申し上げました、岩手県知事代理の岩手県県土整備部長平井でございます。次に盛岡市長代理で副市長の細田様です。次に、矢巾町長代理で上下水道課長の藤川様です。次に、県土整備部河川港湾担当技監の沢口でございます。最後に、本日、資料の説明をさせていただきます河川開発課長及川です。それでは、ただいまより議事に入りますが、議事進行につきましては、平井県土整備部長が務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

### 4 議事

#### (1) 検証に至る経緯について

**○平井県土整備部長** それでは、早速議事に入らせていただきますが、始めに、検証に至った経緯や検証の進め方について、資料No.1から2を使いまして事務局から説明をお願いします。

**<事務局から資料 No. 1 検証に至る経緯、及び No. 2 個別ダム検証の進め方等について説明>**

**○平井県土整備部長** ただいまの説明につきまして、ご質問ご意見がありましたらよろしくをお願いします。

#### (2) 築川ダムの検証内容について

#### (3) その他

**<事務局から資料 No. 3 築川ダム建設事業の検証に係る検討説明資料のうち、表4. 2. 1 まで説明>**

**○平井県土整備部長** ただいまの説明につきまして、ご質問ご意見がありましたらよろしくをお願いします。

**○細田盛岡市副市長** 6ページ堆砂容量の4ダムの抽出というのは、近傍というもので、地形とか地質が類似するとかの関係ではないのですか。

**○及川河川開発課長** 基本的に、地質において中生代の堆積岩類ということで、綱取とか、滝ダム、綾里川ダム、日向ダムなど4つのダムを抽出しております。それと地形的な要因という中で特に堆砂と相関が高いということで、備考欄に書いてあります、崩壊地面積とか年降水量、起伏度、被覆特性、河床勾配などの地形的な要因が考えられる訳です。その中で一番堆砂に対する影響というのが崩壊地面積率が0.93、この崩壊地面積率を用いた推計が表2.3.2で、崩壊地面積率の相関から推定いたしますとそこに書いてありますように、179とか166、177という値になります。それに対しまして築川では200という比堆砂量を想定しておりますので、これよりも小さいので築川ダムの計画している堆砂量は100年間経っても満杯にならないのではないかという計算結果となっております。

**○細田盛岡市副市長** 7ページの流水の正常な機能ということで、維持流量というのが出ていますが、1.48とかいうものですね、これは懸念される数値というのは3つとも無いのでしょうか。クリアーはしているのだけでも、若干の懸念がある数値とかは出てないのでしょうか。

**○及川河川開発課長** 適切な値ではないかと思っております。それと維持流量の目安として、良く言われているのは流域面積100km<sup>2</sup>であれば、概ね1m<sup>3</sup>/s程度確保できれば良いだろうということで1.484というのは概ね妥当だと思っております。

**○細田盛岡市副市長** 景観も流水の清潔の保持も。

**○及川河川開発課長** はい。

#### <事務局から資料 No. 3 の 30～41 ページまで説明>

**○平井県土整備部長** ただいまの説明につきまして、ご質問ご意見がありましたらよろしくをお願いします。

**○細田盛岡市副市長** コストと安全度とといいますか、完成する年限に目が行くのですが、コストはそれなりの積み上げだと思うのですが、完成年限が167年とか154年とか、1年刻みで積み上げられる根拠とかをイメージするにはどう理解したら良いですか。

**○及川河川開発課長** ダム事業につきましては、国からの補助事業でやっている大規模な事業ですので、付替道路やダム本体といった、段階段階で計画にある程度あわせた予算措置がなされるという前提でダム案は考えています。河川改修案など他の案につきましては、これまでの県内の河川事業ですと、だいたい1箇所あたり大規模な河川改修事業で、年間4億2千万円ほど投下できるということで、一つは年間予算の制約がありますし、河道を掘る場合は漁業権等で、川に基本的に手をつけてはダメな時期があり、築川の場合年間6ヶ月くらいの施工期間となっております。どちらか制約の強い方で工期を設定しています。

**○平井県土整備部長** それでは新規利水につきまして42ページから55ページまでの説明をお願いします。

#### <事務局から資料 No. 3 の 42～55 ページの内容について説明>

**○平井県土整備部長** はい、ありがとうございます。それでは、今の説明に対しまして質問等ありましたらお願いします。よろしゅうございますか。そうしましたら、事務局か

ら最後の総合評価まで説明をお願いします。

### <事務局から資料 No. 3 の 56～63 ページの内容について説明>

**平井県土整備部長** はい。ありがとうございました。ただいまの説明に関しまして何かご質問ご意見ありましたらお願いします。いかがでしょうか。よろしゅうございましょうか。よろしいですか。何かございましたら何なりと。今回検証のまとめをさせていただいてから、ご要望等があればお受けしたいと思います。資料のご説明の内容に特にご質問がなければまとめさせていただければと思います。県が行った検証では総合的にダムプラス河川改修案が妥当だとする判断になってございますけれども、この点につきましてはそれでよろしいということでしょうか。

《「異議なし」の声あり》

はい。それでは、そういうことでまとめとさせていただきたいと思います。検証内容につきましては、以上で終了させていただきます。そうしましたら、ご意見等、ご要望等もしあればどうぞ。

**○細田盛岡市副市長** 今、部長さんからありましたように、説明を受けた内容、事業費とかあるいは今後のコストとかあるいは年数とか、地域社会に及ぼす影響とか環境の負荷とかそういったことを総合的に勘案すれば現行の計画案でお願いしたいと思っております。

**○平井県土整備部長** はい。ありがとうございます。

**○藤川矢巾町上下水道課長** 矢巾町の方からは利水の点から意見を述べさせていただきます。矢巾町における現在の水道水源は全て井戸からでございますので、常に枯渇や井戸の崩落とか、目詰まり、揚水ポンプの故障とか、安定した給水に対して不確定要素となっております。安全を確保する上で水源の多様性を考えた場合、築川の今回の事業が唯一の方策でございます。計算では計り知れない重要な使命を担っております。ぜひこの事業によりまして新たな水源を確保し、矢巾町民の安全安心な暮らしの向上のために早期完成をしていただきたく強く要望申し上げます。以上です。

**○平井県土整備部長** はい。ありがとうございます。そうしましたら、続きまして国から示されております細目によりますと関係住民から意見を聴くこととされております。その進め方について事務局から参考資料の 2 で説明をお願いいたします。

### <事務局から参考資料 2 により説明>

**○平井県土整備部長** はい。この件に関しまして何かご意見ご質問ございましょうか。よろしいですか。そうしましたら、議事は以上でございます。事務局にお返しいたします。

**○松本河川課総括課長** 長時間にわたりまして、非常にありがとうございました。ただいま検討いただきました内容につきましては、今後、学識経験者、あるいは関係住民の皆様方から意見の聞き取りなどを行いまして年度内に県としての方針を決め、国に報告したいと考えております。以上をもちまして検討の場を終了させていただきます。大変ありがとうございました。ご苦労様でした。